

認知機能の低下のない人 プレクリニカル期	認知機能の低下のある人（MCI含む）	認知症の人
① 国民の理解の増進 ・ 世界アルツハイマーデーイベントの開催（年1回）、認知症市民公開講座の開催（年1回）、認知症サポーター養成講座の開催（年1回）	② バリアフリー化の推進 ③ 社会参加機会の確保 ④ 意思決定支援・権利利益保護 ⑤ 保健医療・福祉サービス提供体制の整備 ⑥ 相談体制の整備 ⑩ 多様な主体の連携 ⑪ 地方公共団体への支援 ・ <u>NCNP認知症センター／東京都（小平市）認知症疾患医療センター</u>としての活動 - もの忘れ外来（初診患者数のべ602名*）、専門医療相談（のべ943件*） - 抗Aβ抗体薬投与（レカネマブ36名、ドナネマブ25名） ・ 認知症初期集中支援チーム（月1回、医師・看護師を派遣）、小平市もの忘れ相談会（年5回、医師を派遣） ・ 認知症カフェ「オレンジカフェ」（月1回、参加者数のべ233名*、医師・看護師・心理師も参加） ・ 人材の養成・資質向上： - 医療従事者向け認知症ブラッシュアップ研修（年1回、講師は認知症希望大使*） - NCNP看護部エキスパートナース研修（年1回、意思決定支援についても講義*） - 介護支援リーダー研修・講師派遣（年2回）、看護師認知症対応力向上研修・講師派遣（年4回） - 小平市テーマ研修会への講師派遣（年1回、地域の多職種で連携して開催） ・ 小平市在宅医療介護連携推進協議会、小平市認知症支援部会、小平市認知症ネットワーク会議、「認知症の人の社会参加推進事業」意見交換会、北多摩北部保健医療圏医療介護連携協議会への参加	
⑦ 研究の推進 ⑨ 調査 ⑫ 国際協力		
⑧ 予防	⑧ 予防	⑧ 予防

- ・ もの忘れチェック会（年10回、参加者数のべ213名*）
- ・ MCIリハビリプログラム（患者60名とその家族が参加*）

認知症センター長／認知症疾患医療センター長：大町佳永

【もの忘れ外来/専門医療相談】

認知症センター/認知症疾患医療センター 医師

＜脳神経内科＞ 雑賀玲子、勝元敦子、弓削田晃弘

＜精神科＞ 大町佳永、高野晴成

＜総合内科＞ 高尾昌樹、長田高志、木村浩晃、大平雅之

認知症疾患医療センター

相談員：野崎和美（認知症看護認定看護師）、及川良子（看護師）

小灘登志子（ソーシャルワーカー）

事務：森川重則、谷口美智子（看護師）

認知症センター

看護師：野崎和美、及川良子

臨床心理師：藤巻知夏、松井眞琴、竹田収、脇田能宏、青木彩恵、佐藤日南

ソーシャルワーカー：小灘登志子

事務：見戸由佳子



【認知症をもたらす疾患/合併症の診断・治療】

＜脳神経外科＞ 岩崎真樹、木村唯子

＜放射線科＞ 佐藤典子、重本蓉子

＜脳神経内科＞ 高橋祐二、水澤英洋

＜精神科＞ 沖田恭治

＜総合内科＞ 水澤英洋

＜歯科＞ 福本裕

＜看護＞ 渡邊彰文

＜臨床心理室＞ 出村綾子

＜医療連携＞ 澤恭弘、花井亜紀子

【リハビリテーション】

＜身体リハビリテーション＞ 原貴敏

＜精神リハビリテーション＞ 吉村直記、浪久悠

【研究所等 その他研究部門】

＜レジストリ等＞ 水澤英洋、岩坪威（神経研究所）

＜治験＞ 中村治雅

＜画像＞ 高野晴成（脳病態統合イメージングセンター）

＜病理＞ 高尾昌樹

＜バイオバンク・遺伝子＞ 後藤雄一（メディカル・ゲノムセンター）

＜認知行動療法等＞ 久我弘典（認知行動療法センター）

普及・啓発のための活動

資料2-17 国立精神・神経医療研究センター

◆「世界アルツハイマーデー」イベント

- ・ 毎年9月「認知症月間」に開催、小平市・東村山市後援
2026年9月1日（火）開催
- ・ もの忘れチェック会
- ・ 院内イベント
ミニコンサート、オレンジカフェからのメッセージ、
臨床研究等について情報提供

◆ 認知症市民公開講座

『認知症市民公開講座～知っておきたい
認知症のこと～』

- ・ 小平市・東村山市後援
2026年10月3日（土）開催

地域住民に対して認知症を啓発し、
当院の専門医療機能を周知
認知症に関する相談・受診促進に
寄与

会場とZoomの同時開催

10/3（土）市民公開講座 申し込み不要

～知っておきたい認知症のこと～

開催時間 13:00～15:30

講座内容

認知症疾患医療センターについて
認知症疾患医療センター長 大町 佳永
精神科医師

新時代の認知症治療について
神経研究所長 脳神経内科医師 岩坪 威

会場参加の場合（開始12:00）
会場 病院敷地内 ユニバーサルホール
定員 200名程度
メイン会場が満席になりましたら、サブ会場にご案内します。

Zoomでの参加の場合（開始30分前より入室可能）
お時間になりましたら、下記URLまたはQRコードよりアクセスしてください。
URL: <https://us02web.zoom.us/j/87960661635?pwd=wksxikbd3PDUbZakdKjqwy06sZCrAG.1>
当院HP「お知らせ」内のイベント掲載ページからもアクセスできます。

もの忘れチェック会
先着40名（要予約）

市民公開講座
（予約不要）

2026
世界
アルツハイマー
DAY
9/1、10/3
（火）（土）
世界アルツハイマーデーに際して
認知症について理解を深めていただけるよう
イベントを開催いたします。
お気軽にお立ち寄りください。

9/1～4
お役立ち情報
コーナー
関連資料配布

ミニ
コンサート

LOVOTと
遊ぼう！

イベントはすべて無料で
ご利用いただけます。
詳細は中面をご覧ください。

国立精神・神経医療研究センター病院 小平市 東村山市 後援

8/20（木）9時～
予約受付開始

9/1（火）もの忘れチェック会

簡単な質問票で認知症の疑いがあるかの確認や、
認知症予防の講座をします。
受診を希望される方には、当院の予約を承ります。

要予約！

時間 10:00～12:00（9時30分開場）
場所 病院敷地内 教育研修棟 ユニバーサルホール
定員 先着40名 ※要予約
申込先 ☎042-341-2711（代）（平日9時～16時半）
国立精神・神経医療研究センター病院
認知症疾患医療センター

9/1（火）院内アルツハイマーデー
イベント ～受付待合付近にて開催～

ベンやお菓子などのイベントグッズの配布もあります！

時間 14:00～15:00
申し込み不要
場所 病院会計待合前、タリーズコーヒー前

ミニ
コンサート
14:15～14:45

認知症に関する
情報コーナー
資料配布
グッズ配布

LOVOTと
遊ぼう！
14:00～15:00



◆もの忘れ外来

専門医9名（脳神経内科3名、精神科2名、総合内科4名）が、鑑別診断、治療、BPSDへの対応について方針を確定、連携医療機関に逆紹介。診療科を超えて、認知症センター共通のプロトコルを用いたワン・ストップの診療を実施。

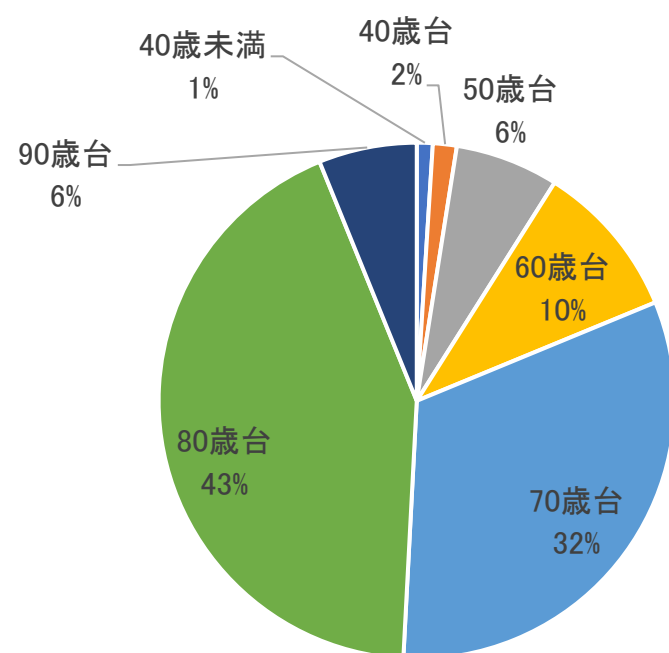
令和7年度 初診患者数：のべ602名

◆専門医療相談

認知症看護認定看護師とソーシャルワーカーが、本人・家族・関係機関からの相談に対応

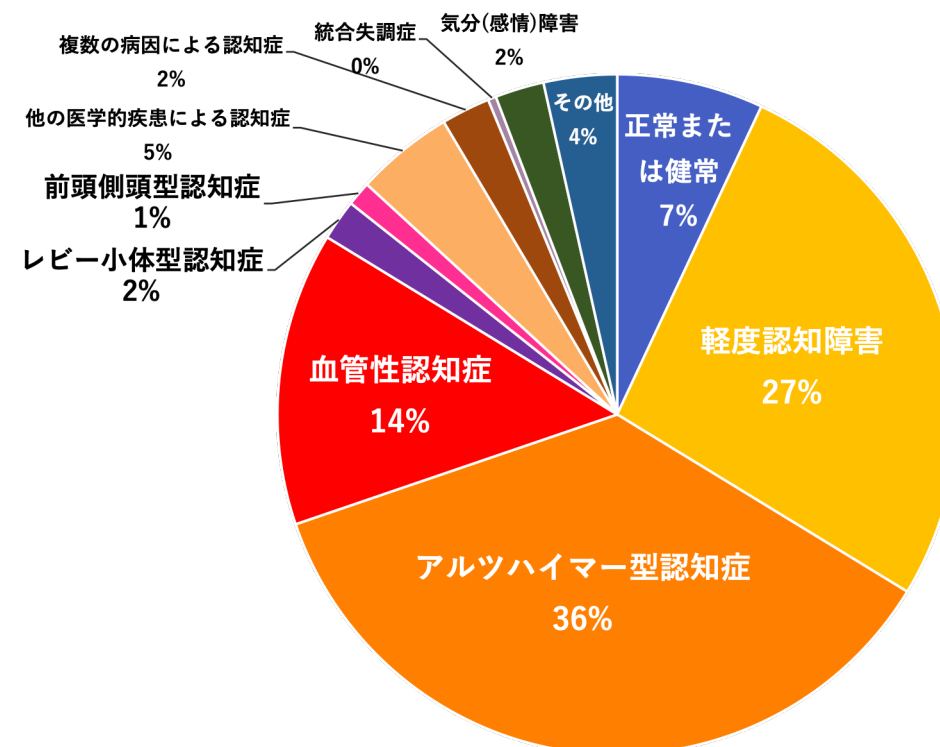
令和7年度 相談件数：のべ943件（うち若年性認知症：のべ90件）

主な相談内容：受診やケアの方法、抗アミロイドβ抗体薬、介護保険など



令和7年度 初診時年齢（602名）

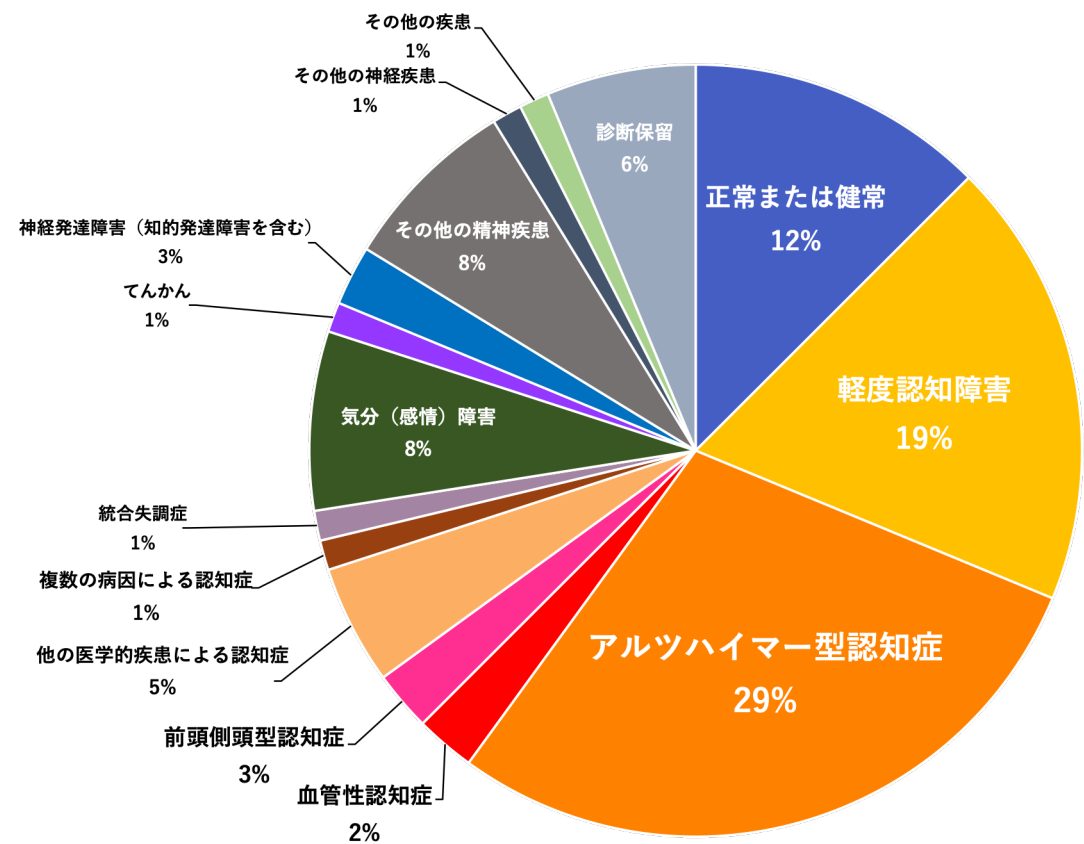
65歳未満
 令和3年度：64名
 令和4年度：72名
 令和5年度：90名
 令和6年度：52名
 令和7年度：80名



令和7年度 鑑別診断（366件）

◆ もの忘れ外来における若年者の鑑別診断（R7年度）

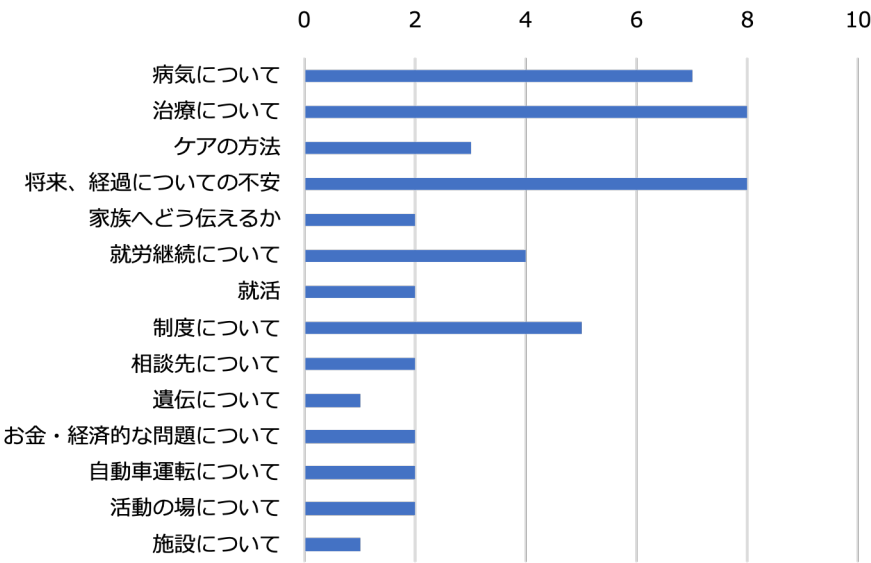
65歳未満のもの忘れ外来受診者：80名
（もの忘れ外来受診患者全体の13%）
うち当院で認知症の診断が確定した患者：27名



令和7年度 もの忘れ外来を受診した若年者の鑑別診断（80名）

◆ 認知症診断後支援（R7年度）

- 専門医療相談への相談件数：のべ90件（23ケース）
相談・支援内容：診断後の心理的支援、利用可能な制度説明、若年性認知症支援コーディネーターの紹介・橋渡しなど
- 若年性認知症支援コーディネーターに繋いだ件数：16件
（すでに介入済みであった5件を除く）
- ピアサポート相談：1件
診断直後の若年性認知症患者とその家族が、若年性認知症ピアサポーターに相談する機会を提供
- ヤングケアラー相談：1件
若年性認知症のヤングケアラーとして介護をしている人に、かつてヤングケアラーだった人と相談できる機会を提供



専門医療相談への相談内容

認知症センターは、NCNPで行われている認知症に関する臨床研究・治験のハブ（中核）としての役割を果たしている。

◆もの忘れチェック会

- ・認知症の早期発見・介入のための認知症検診。小平市と共催で年10回開催。令和7年度参加者：213名
- ・地域包括支援センターや市の施設等で、予防のための講演会と認知機能のスクリーニング検査を実施。
- ・MCI・認知症の範疇にある人には、診療情報提供書を発行し当院を含むもの忘れ外来の受診をすすめ、研究について情報提供。
- ・健常者（自覚的認知機能障害）には、研究について情報提供。

◆主な研究・調査

●リアルワールドにおける高齢者認知症リスク評価に血液BMが果たす役割の検証（大町・長田）

国立長寿医療研究センターが代表を務める「血液バイオマーカーの認知症診療や検診への応用」の分担研究。

もの忘れチェック会参加者、もの忘れ外来患者を対象に、血液バイオマーカーを測定、定期的なフォローアップと縦断的なデータを収集、予防のための生活指導等を行う。血液バイオマーカーによる認知症リスク層別化が高齢者検診に有用であるかを検証する。

●レジストリ研究

・アルツハイマー病疾患修飾薬（DMT）全国臨床レジストリ研究（岩坪）

疾患修飾薬（レカネマブ・ドナネマブ）を投与している患者さんの長期的な情報を収集し、解析する。疾患修飾薬による副作用の程度と要因、安全かつ有効な治療のために必要な体制、長期的効果、効果と副作用の予測などについて研究する。

・プリオン病の臨床研究のための全国コンソーシアム（水澤・長田）

プリオン病の自然歴を調査し、病態の解明、新規治療薬の開発などを行う。



MCIリハビリプログラム（予防）

- 認知機能低下・進行予防のためのリハビリテーションプログラム
- もの忘れ外来通院中のMCI患者が対象（家族も同伴可）
- 認知症センター、精神リハビリテーション部、身体リハビリテーション部が連携、栄養管理室の協力のもとで運営
- 内容：生活習慣改善を目指した講話、個別身体機能評価、運動、レクリエーション（書道、園芸、絵画等）
- 令和7年度：全4クール実施
「脳の活性化プログラム」
4クールで患者60名と家族が参加
「運動プログラム」患者19名が参加
→プログラム終了後、患者13名が当院精神科デイケアを利用

軽度認知障害（MCI）・認知症リハビリテーション 2025

MCI リハビリプログラム

～ここからだもしなやかに～

脳の活性化
プログラム

運動
プログラム

「MCIリハビリプログラム」ってなに？

認知機能低下の進行予防のためには、生活習慣を整えることが重要です。今後どのような生活を送りたいか、座学とトレーニングを通して学びませんか？

対象となる方

- 最近、「忘れやすくなったなあ」と感じる方
- 生活にメリハリをつけたい方
- 認知症予防に関心がある方
- 今後もいきいきとした生活を送りたい方

国立精神・神経医療研究センター病院
認知症診療センター
〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1
☎ 042-341-2711

プログラム内容

- ◆脳の活性化プログラム（全7回、定員15名）
- ◆運動プログラム（全10回、定員5名）

脳の活性化プログラム

- 講話 認知症とは進行予防栄養と運動生活習慣
- 体験 ストレッチ 認知機能体操 脳トレ
- 社会 意見交換 趣味の活動 地域での活動紹介

運動プログラム

運動と認知トレーニングを組み合わせたプログラムを実施

- 身体評価(初回)
- 有酸素運動
- 簡単な体操
- ストレッチ
- コグニサイズ

自宅でも自主トレーニングが行えるよう指導します。

※本プログラムに参加するためには、当院でのもの忘れ外来受診が必要になります。
ご希望の方は、当院主治医に参加希望をお申し出ください。
※利用には費用がかかります（医療保険適用）。
※ご自身で通院できる方が対象です。（送迎はありません）
※詳しく説明をご希望の方は、「地域連携医療福祉相談室」までお越しください。
※プログラムは急遽変更になることがあります。

参加属性	人数	男	女	平均年齢	MMSE平均
1クール	13	6	7	82.6	25.8
2クール AM	11	2	9	76.8	26.0
2クール PM ※増枠	13	4	9	79.7	25.8
3クール	11	5	6	76.8	25.8
4クール	12	5	7	75.3	26.9

抗Aβ抗体薬の適応とならない患者、介護サービス利用に抵抗のある患者を含め、MCI患者に対する継続的な支援の場となっている
診断から予防・リハビリ、支援、社会参加につなげる

◆小平市在宅医療介護連携推進協議会 認知症専門部会

- ・ 認知症疾患医療センター長、認知症看護認定看護師が出席
- ・ 中等度から重度の認知症に対する支援について、課題を整理し対応策を発案
- ・ 医療・介護関係者の認知症に対する理解向上を目的とした研修を開催

◆小平市の認知症初期集中支援チーム

- ・ 専門医・認知症看護認定看護師を派遣
- ・ 認知症が疑われる人や認知症の人を医療・介護サービスにつなげる

◆小平市もの忘れ相談会

- ・ 小平市と共催、年5回開催、専門医を派遣
- ・ もの忘れを心配する市民からの相談に応じ、認知症の早期発見、適切な医療や介護サービスにつなげる

受診が必要と判断した場合は診療情報提供書を発行し、近医もの忘れ外来受診をすすめる

地域の医療介護関係者の認知症対応力の向上、MCI・認知症が疑われる人の受診促進に寄与